



毎年9月1日は「防災の日」。今から100年前の1923年9月1日に発生した関東大震災では、地震の被害だけでなく、発生した火災でも甚大な被害が出ました。いつ発生するかわからない地震や火事に備え、家庭でも普段から避難訓練をしましょう。

ひなんの ときの あいことば 「お・は・し・も・ち」

お

おさない



は

はしらない



し

しゃべらない



も

もどらない



ち

ちがよらない



じしんや かじが おきた ときは こわいけれど みんなが
あんぜんに ひなんを できるように だいじな あいことばを
しっかり おぼえて おこうね

災害時の避難では、パニックを起こさないようにすることが大切です。子どもたちを守るためには、保護者の皆さんが落ち着いて、不確かな情報に惑わされずに的確に行動をとれるように努めましょう。

夏休みも終わり。バアバの小さい頃は学校に行くと“クロンボ大会”…今は差別語かな…なるものがあるって、しっかり外で遊び、日焼けした子どもが表彰されていました。今はこの暑さ、外に出るのにも本当に気を使いますね。

ただ、変わらないことは、朝ごはんの大切さです。「毎朝、ごはんを食べるとよい」ではなく、食べないと危ないのです。

勉強時間を増やすことより朝食を取る方が、明らかに学力向上に効果的だという調査結果が出ていました。

朝食をとると体温が上昇し、体が活動するための準備ができるのです。我が家など昨夜の残り物とバアちゃんのみそ汁位のものでしたよ。それでも子どもは元気よく二学期を迎えて学校に飛び出して行きました。

さあ！！子どもが久しぶりに園から又は学校から帰って来ます。最初の「ただいま」の瞬間を見流さない様にしましょう。表情や態度をしっかりと見てやりたいものです。

子どもにとって悲しい報道がたくさんありました。「水難事故」「虐待死」。親がストレスをためているのでしょうか。子どもへ対する愛情が失せているのでしょうか。

健全な親子の有り方をしっかり見つめてほしいです。

愛情をことばに

小さなことでも褒めてあげましょう。このバアバでも80の手習いでピアノレッスンの時、先生が「まあ、きれい！！」などとおっしゃって下さると、とても心が晴れて、よし今度はもっと強弱をつけた音楽として聞かれる様努力して来ようと思いました。時には叱ることも必要ですが、せいぜい60秒以内位がいいそうです。

もう一度親子関係を見直してみてネ。

人生苦有り 以て楽しむべし 芥川龍之介

私の思い(子育て時代は大変です。それでも子どもを見ていると楽しいです。)